おかむら通信 243 号

令和 7 年 7 月号

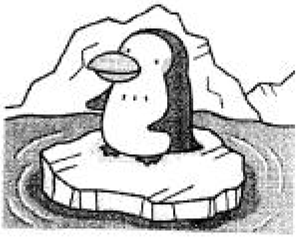
みなさん、お元気ですか？　皆様のおかげで、6月9日（月）からどうにかこう私、院長の外来を再開しています。外来で診察している間は、なぜかパワーをだして、楽しく仕事ができていますが、外来から離れるとまだ体力が、気力がフルというわけにはいきませんが。しかし頑張ってゆきます。

6月 12 日から STH 外科外来にて化学療法が開始。しばらく続きます。7月からは本格的に当院の外来診療を開始し、庸介先生の外来はいつもと変わりありません、内科でも外科でも難しい患者さん、脱水のひどい熱中症や、帯状疱疹後神経痛などは、院長が診させていただきます。

今月の言葉

世の中はよくも悪くも自分の都合とは関係なく変化してゆく

結局、外へ出て見聞を広めてゆく、これが大事です。　　某亡者



院長より

①釜山小山ロータリークラブ（友好クラブ）17 周年記念式典出席　要人参加して総勢 100 名のようです。緊張しますね。

釜山医科大学学長と面談、医療施設視察など勉強してきます。勿論、韓国でも総合診療はあたりまえです。医学生の教育にはかなり力をいれているようです。

②人間ドックの考え方、当院では、ひとりひとりに合わせた内容を考えて行います、個人個人、複数の、違った病態を持っているからです。ワンパターンのみんな同じ検査による病態探索では、的外れなことが多いですよ。

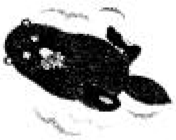
ドックは効率的です。

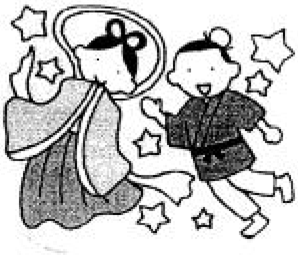
③日常で、病気を多面的に見る、画像は立体的にみる、病気は時間とともに動くので複数の病態を、同時に、経時的に、いつも急な変動に備えながら、見てゆく。という姿勢でプランニングしています。

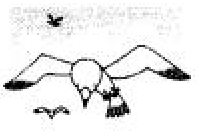
④やはり、思うのは、日本のドクターのみなさん、GPにもなりましょう。専門医プラス総合診療医です。できれば外科、麻酔科を会得するとすばらしいです。

⑤毎日外来終了してから　患者さんのプランニングのために自分の診療を振り返っています。

⑥自分が大病をしたことにより自分の周りに存在する些細な事は気にならなくなり、本物がだんだん見えてきました。辛いことは経験してみるものですね。







⑦年間約25万枚以上の画像をみて、読影して、などしています。エコー、ＣＴなどの画を見ていくうちに、以前みえなかった所見が読影できるようになってきています。とくに　脳、内臓臓器　などにおいて。

⑧ＡＩ（人工知能）を活用しています。胸部ＸＰ（肺癌健診に利用），ＣＴなどにて。

⑨このところ、庸介先生の他病院への紹介が多いのですが、なるべく早期に病態を専門医に見極めてほしいからです。

⑩最近、無熱のコロナ感染症が見られます。とくに体力の弱い方は、感染しないように気を付けてください。

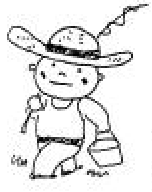
⑪帯状疱疹ヘルペス感染のあとの神経痛。かなりつらいですよね、まだまだ存在します。早めに当院に受診ください。

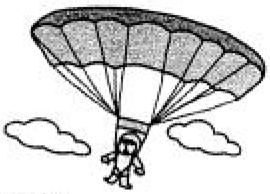
⑫熱中症はこの6，7，8月と世界の気候の変化により皆様を命がけな状況に陥れます。すこしでもおかしかったら、受診ください。点滴などできるクリニックが少ないのが現状ですが。

＜院長のお勧めコーナー＞

熱中症の初期症状について、症状が悪化する前に軽い症状でも来院ください。

1、周りの風景がなにかおかしく感じる　2、人の話が聞こえにくい　3、あたまがぼーっとしてきた　4、体が動かない　5、高熱がでている　6、脈が速い、弱い　7、暑い中　歩き回った　8、朝ごはん食べてなかった　9、水分摂取不足　など。





＜　院長の6月の出来事　＞

/01（日）STH 外科　退院　　その後　自宅療養、7日間

/09（月）院長外来　再開

/12（木）STH 外来受診にて腹水減少し体力回復の兆しあり　外来化学療法開始

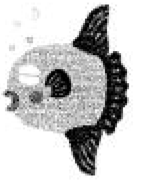
/15（日）当院外来　トイレ２か所　機器交換工事

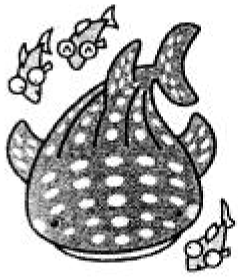
/09（木）ロータリークラブ出席、半年ぶり、釜山小山 RC への準備

/20（金）松戸市総合医療センター外科　三浦部長と懇談　　　当院にて

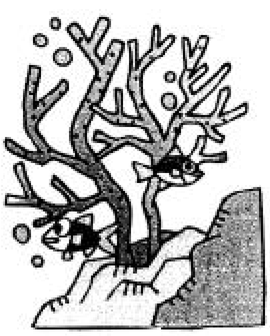
/23（月）SECOM,システム改良の為の懇談／当院外壁工事準備／薬局長と懇談

/26（木）STH 外来受診　術後の体力の回復を確認





今年は早くから暑くなり、いつもは7月中旬くらいの梅雨明けが、上旬くらい、と、平年より早まるそうですね。

我が家は、早くも6月中頃からチューペットを凍らせ始めました。

水分不足も心配ですが、しっかり熱中症対策をして、健やかに夏を乗り切りたいですね。　七種（サイクサ）